



## 交通安全

今月はちゃんとコンプラ交通安全

9月21日～9月30日は全国秋の交通安全運動期間  
交通事故0の継続に向けてみんなで協力していきましょう

## 交通違反・事故はなぜ起こるのか？

安全運転を心がけているはずなのに、なぜ交通事故や交通違反は起こるのでしょうか？

「不注意」や「気の緩み」で片付けられがちですが、実はその背景には、人間の行動や思考のクセ、つまり「心理」が深く関わっているそうです。

今回は、心理の側面から、事故防止や交通安全について考えてみたいと思います。

## 認知バイアス

認知バイアスとは、物事を認識したり、判断したりする際に生じる、偏りや思い込みのことです。

「自分は運転がうまい」といった過信（正常性バイアス）や「この道は慣れているから大丈夫」といった思い込み（確証バイアス）もこれにあたります。

長年運転しているベテランドライバーほど、この認知バイアスにより事故を起こすリスクがあるというデータがあるそうです。

慣れは危険運転の大きな要因です。ベテランになればなるほど謙虚な気持ちを大切に持ちたいものですね。

## リスク・ホメオスタシス理論

難しい名前のリスク・ホメオスタシス理論ですが、これは技術や仕組みによって安全性が高まっても、人は事故のリスクが減ったと感じ、さらに利益を求めてさらに危険な方向へ行動が変化していき、長期的に見ると事故が発生する確率は変わらないという考え方です。簡単に言うと、安全装置があると「安心」してしまい、逆に危険な運転をしてしまう傾向にあるということです。

「自動ブレーキがあるから、スピードを出してもわき見運転しても大丈夫」と過信せずに運転する気持ちが大切です。

## リスクテイキング

リスクテイキングとは、リスクを取った運転をしてしまう心理傾向で、若手ドライバーや男性に多い傾向があります。

リスクテイキングの代表的な例は「時間に間に合わせるため」の危険な運転や、運転技術への過度な自信からリスクを歌唱してしまうケースがあります。

若手ドライバーの皆さんには、「遅刻しても良いから安全運転を心がける」気持ちを大切にしてください。

## まとめ

私たちの運転行動は、単なる技術やルールだけでなく、日々の心理状態に大きく左右されます。今回の心理的な側面を意識することで、自分自身の行動を客観的に見つめ直し、安全運転へとつなげていきましょう。